

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

廃棄物を磁気力で分解処理する、従来の焼却炉とは一線を画す廃棄物の処理装置「有機物磁気分解装置」の普及に注力し、環境負荷の削減に貢献できる企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・廃棄物から再生可能な無機物を取り出し再利用を可能に ・廃棄物処理の際のダイオキシン発生を削減 ・処理中のエネルギー使用は ほぼ不要 これらの特徴を持つ廃棄物処理装置「BUN KAI LOW」の生産販売を促進	「BUN KAI LOW」販売台数 2023年無し(開発改良途上)→ 2027年販売5台
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・社内のDX化によるペーパーレス化を推進	社内外の書類を電子データへ転換 2023年20%→2027年80%
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	・年齢を問わない中途採用の推進	経験値の高い高齢者や経験値の浅い若年者からの採用 2023年無し→2027年1名採用

<パートナーシップ>

有機物磁気分解装置「BUN KAI LOW」については、自社は製造に特化し、協力企業が販売元となり装置の丁寧な販促体制を整えることによって、環境負荷を考えた商品の普及に連携して取り組んでいる。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。